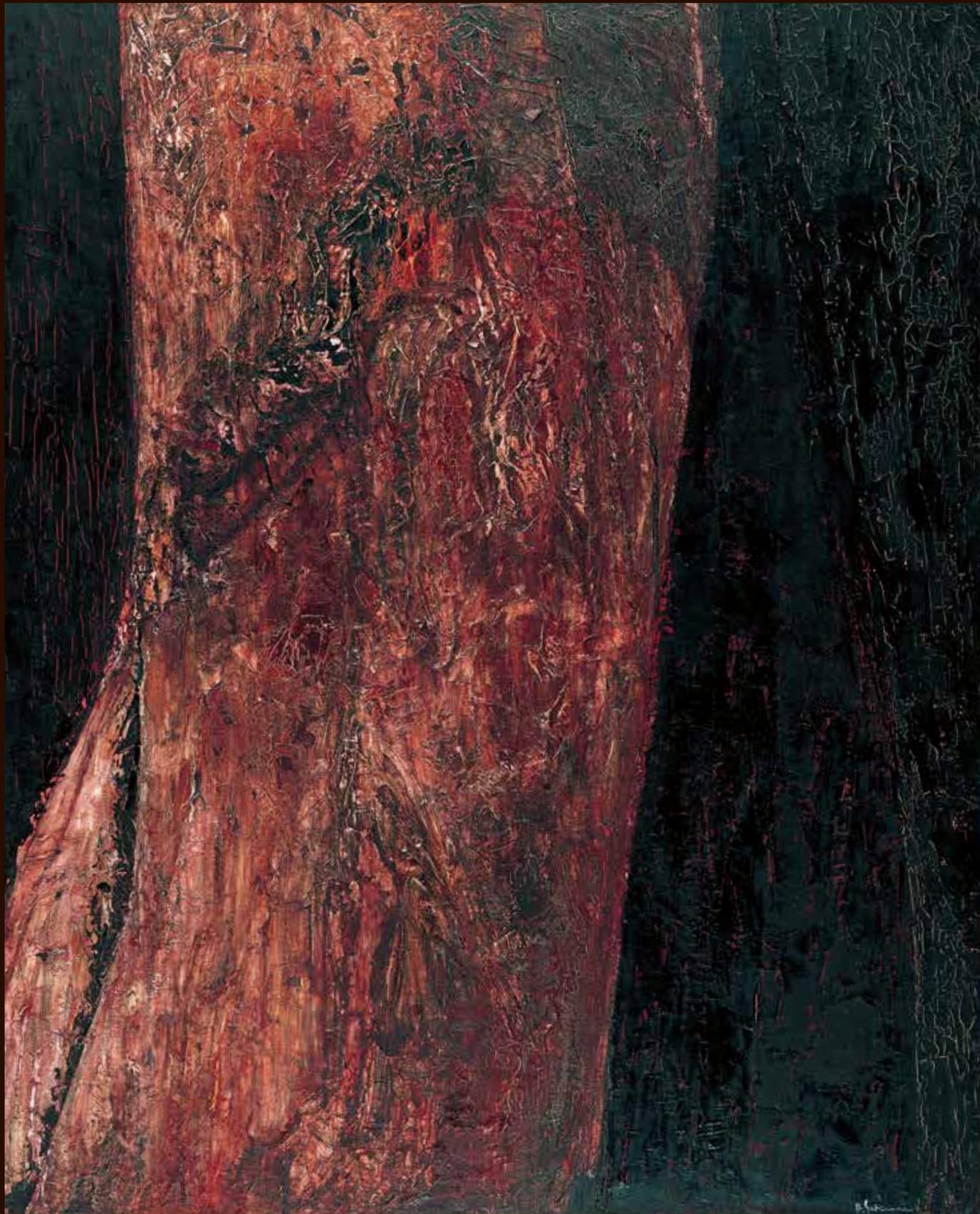


桜井浜江 中期 作品展

東京都三鷹市下連雀3-42-3

JR三鷹駅南口より徒歩5分

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー



桜井浜江《樹(一)》1961年

開館時間 午前10時30分～午後5時30分 休館日 月曜日(10月14日は開館)、10月15日(火)、10月16日(水) 観覧料 無料
主催 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 協力 公益財団法人山形美術館 お問合せ TEL 0422-29-9868 (三鷹市公会堂)

2024.10/12(土) - 11/4(月)



《樹》1961-62年頃



《樹》1965年頃



《立つ》1968年

1926(大正15)年、18歳の桜井浜江は画家となるべく故郷山形を出奔上京します。そして2007年2月12日、99歳を目前に三鷹中央病院にて息を引き取るまで、つまり18歳から80年余を経たその日まで、常にひとりの「画家」でありました。

人間の、壺の、花の、樹の、波の、そして風景の、事物の存在そのものの、その強靭さを、決して抽象に向かうことなく、自らのうちに燃え上がるものと、対象の底から湧き上る力をひとつに、終生カンヴァスに描き切ろうと、アトリエを離れ病室に横たわるときでさえも、そのことだけを思念し続けた画家でした。

今回の展示は、昨年の初期作品展に続いて、「樹」を中心にした中期作品7点で構成されます。桜井の画業はこの「樹」においてひとつの到達点に達したと言ってよいでしょう。ここに在るものは樹そのものであり、同時に桜井浜江という裸の人間です。それ以上でも、それ以下でもありません。ただ一途な努力が、画家をここに導いたという以外にないと思います。

三鷹市の所蔵品からは、小品ですがとても珍しい青い樹を、そして故郷の山形美術館からは、代表作である「樹」を3点、そしてそれに続く鮮やかな色彩が特徴の3点、計7点を展示致します。どれだけ凝視してもし尽くすことのない作品たちです。どうぞ、心ゆくまでご鑑賞ください。

貴重な作品を快く貸与され、ご協力くださいました山形美術館様に深く感謝の意を表します。

桜井 浜江

1908(明治41)年山形市生まれ。県立山形高等女学校卒業後補習科を修了し上京。川端画学校洋画部、岡田三郎助私塾、1930年協会洋画研究所などで学び、31(昭和6)年第1回独立展入選。39年三鷹市に転居。47年三岸節子らと女流画家協会創立。48年独立賞。54年独立美術協会会員。95年「桜井浜江展—画業65年の軌跡—」(青梅市立美術館)。2006年桜井浜江・田中田鶴子・桜井寛 三人展(三鷹市美術ギャラリー)。2007年死去。2008年「生誕100年記念 桜井浜江展」(山形美術館)。



連絡先：三鷹市公会堂

Tel：0422-29-9868

三鷹駅から会場までのアクセス：右記QRからご確認ください(YouTube)



三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー
Mitaka City Hamae Sakurai Memorial Gallery



《トルソー碑(トルソー)》1974年



《花》1975年



《青い樹》不詳